

ボツワナ共和国月報(2024年12月)

主な出来事

【内政】

- モルピシ元大統領府次官、汚職で有罪
- ボコ政権、マシシ前大統領の私的財産調査
- ボコ大統領、CKGRを訪問
- 首長議会開会
- ハボローネ市長選
- オカバンゴ・ダイヤモンド社の入札不正疑惑

【外政】

- ブタレ国際関係大臣、外交団と交流
- 中国政治協商会、ボツワナを訪問
- 大森大使、ブタレ外務大臣を表敬
- 各国大使及びローマ教皇庁大使、ボコ大統領に信任状を奉呈
- IOM事務局長、ボコ大統領を表敬
- 国連副事務総長、ボコ大統領を表敬
- ブタレ国際関係大臣、ウクライナ外務大臣と電話会議
- ロシア大使、ブタレ国際関係大臣を表敬
- ブタレ国際関係大臣、AU平和・安全保障理事会会合に出席
- 大森大使、ボコ大統領を表敬
- UAE特使、ボコ大統領を表敬

【SADC関連】

- SADC-ICP会合の開催
- SADC本部の引渡し及びSADC待機部隊地域物流拠点の起工式の開催

【経済】

- 野菜禁輸措置の段階的解除
- ボツワナ銀行第6回金融政策会合開催－政策金利は1.9%を維持－
- 11月のインフレ率は1.7%－前月より0.1ポイント上昇－
- 10月の国際商品貿易統計－14か月連続の貿易赤字－
- 2024年第3四半期のGDP－実質ベースで前年同期比0.5%の減少

【当館関連行事】

- 第5回目・SADCハイレベル政策対話の実施
- 中学校特別支援学級棟の引渡し

【内政】

○ モルピシ元大統領府次官、汚職で有罪

6日、カーター・モルピシ元大統領府次官の控訴審裁判がハボローネ高等裁判所で開かれ、元次官に汚職の罪で懲役7年の有罪判決が言い渡された。同元次官は3件の汚職で告発され、2022年の罰金及び執行猶予付き有罪判決を不服として控訴していた。

○ ボコ政権、マシシ前大統領の私的財産調査

ボコ政権は、UDCの掲げる変革実現の一環として、前政権の財政不正を洗い出すため、マシシ前大統領の私的財産の調査を実施する。本調査は新しく任命されたツェコ大統領府首席補佐官が主導する見通し。

○ ボコ大統領、CKGRを訪問

10日、ボコ大統領は国際人権デーに合わせ中央カラハリ・ゲーム・リザーブ(CKGR)を訪問し、バサルワ族(ブッシュマン)の男性の埋葬に出席した。この男性は2021年に死亡したが、部族の土地がCKGR内にあるため、埋葬地を巡り約3年に渡り国と争っていた。ボコ大統領は11月の所信表明演説でCKGR内への埋葬を認めると述べていた。

○ 首長議会開会

19日、第5首長議会が招集され、議長及び副議長が選出されると共に、議員の宣誓が行われた。議長には3人の首長が立候補し、議員による投票が行われた。新議長は8人のパラマウントチーフの1人、コシ・マロペ・バングワケツェで、10年以上議長を務めたコシ・プソ・ハボローネを11票差で破り、当選した。

○ ハボローネ市長選

19日、ハボローネ市議会は市長及び副市長を選出した。いずれもUDC所属の、モタレン氏が市長に、セケレ氏(女性)が副市長に選出された。市長にはBDP所属の前市長エイブラム氏も立候補したが、20票差で敗れた。

○ オカバンゴ・ダイヤモンド社の入札不正疑惑

国営企業であるオカバンゴ・ダイヤモンド・カンパニー(ODC)は、最近の会計・給与システム入札をめぐる汚職と財務管理過誤の疑惑を受け、監視下に置かれている。同社は50人未満の従業員規模であるにも関わらず、上記システムの入札は5700万プラであった。更に、昨今の世界的ダイヤモンド市場の低迷の影響を受けている同社がどのように多額の資金を調達したのかにも疑問が持たれている。

【外政】

○ ブタレ国際関係大臣、外交団と交流

3日、ブタレ国際関係大臣は、当地外交団との顔合わせセッションを開催し、着任後初めての外交団と交流した。同大臣は、ボツワナ政府が採る外交政策が民主主義、人権、国際平和と安全を基盤としており、経済外交を通じて外国直接投資を誘致し、雇用機会を創出することに力を入れていることを強調した。また、ボツワナは多国間のプラットフォームを活用して、共通の課題に取り組むとともに、国際社会において積極的に発言し続ける決意を示した。

○ 中国政治協商会、ボツワナを訪問

8日～11日、邵鴻(シャオ・ホン)中国政治協商会議副議長率いる使節団がボツワナを訪問し、9日、ボコ大統領及びケオラペツェ国民議会議長を表敬した。ボコ大統領は邵副議長にボツワナの天然ダイヤモンドへのサポートを要請した。邵副議長は、中国によるボツワナへの多分野に渡る支援を確実なものとする旨述べた。

○ 大森大使、ブタレ外務大臣を表敬

11日、大森大使はボツワナのペニョ・ブタレ国際関係大臣に対し、離任の表敬訪問を行った。ブタレ大臣は、ボツワナと日本の強固な友好関係と協力に感謝し、日本が提供した開発支援や技術援助、人的資源強化、文化交流に感謝の意を表した。また、ボツワナのTICADへのコミットメントを再確認し、経済再活性化と雇用創出に向けた日本との協力強化を期待していると述べた。

○ 各国大使及びローマ教皇庁大使、ボコ大統領に信任状を奉呈

12日、アルジェリア、ウクライナ、スイス、ドイツ、ナミビア、フィンランド、南スーダンの大使及びローマ教皇庁大使がボコ大統領を表敬し、信任状を奉呈した。

○ IOM事務局長、ボコ大統領を表敬

13日、ポープ国際移住機関(IOM)事務局長がボツワナのボコ大統領を表敬訪問した。ボコ大統領は、ボツワナが内陸国であり、移民にとって避難所及び通過点として戦略的な位置にあることを強調し、政府は経済の成長と持続可能な雇用創出に尽力していると述べた。同事務局長は、移民が人間として人道的支援を受けるべきであり、IOMはそのニーズに対応するプログラムを開発していると述べ、移民がスキルの移転を通じて開発課題に貢献していることを強調した。

○ 国連副事務総長、ボコ大統領を表敬

17日、エジプト国連副事務総長兼国連開発計画(UNDP)アフリカ地域担当がボ

コ大統領を表敬した。同事副務総長は、UNDPはアフリカの開発モデルになる可能性のあるボツワナのような中所得国との協力に非常に関心を寄せていると述べた。ボコ大統領はUNDPとの過去の協力経験に触れつつ、持続可能な生活を全ての国民に提供する政府の取組に、UNDPが確実な支援を行うことを期待すると表明した。

○ ブタレ国際関係大臣、ウクライナ外務大臣と電話会議

18日、ブタレ国際関係大臣とシビハ・ウクライナ外務大臣は電話会談を行った。両大臣は、二国間及び多国間の共通の関心事項について議論し、ボツワナとウクライナの関係強化に向けた今後の方針を確認した。

○ ロシア大使、ブタレ国際関係大臣を表敬

18日、ケマルスキー・ロシア大使がブタレ国際関係大臣を表敬訪問した。両者はボツワナとロシアの友好関係を評価し、両国が共に関心を持つ二国間及び多国間の問題について、更なる取組方針を議論した。

○ ブタレ国際関係大臣、AU平和・安全保障理事会会合に出席

19日、ブタレ国際関係大臣は、アフリカ連合(AU)の平和・安全保障理事会が開催したソマリアに関するオンライン会議に参加した。本会議では、ソマリアの状況や、ソマリア・アフリカ連合移行ミッション(ATMIS)の後継となる新しいAU主導・国連承認のミッションであるアフリカ連合支援・安定化ミッション(AUSSOM)の展開について議論された。

○ 大森大使、ボコ大統領を表敬

20日、大森大使はボコ大統領を表敬訪問し、任期を終えるにあたり感謝の意を表した。ボコ大統領は、ボツワナと日本の強固で持続的なパートナーシップを認識し、今後も両国関係を深めることの重要性を強調した。また、日本のリーダーシップがボツワナにとって価値のあるものであり、今後さらに関係を拡大することが国家の成長に繋がると述べた。大森大使は、ボコ大統領の就任を祝うとともに、スムーズで平和的な政権移行を称賛し、日本が引き続きボツワナとのパートナーシップを強化していくことを約束した。

○ UAE特使、ボコ大統領を表敬

20日、ナヒヤン・UAE特使はボコ大統領を表敬訪問した。ボコ大統領はUAEとの協力関係に感謝し、ボツワナ産牛肉がUAEへの輸出認定を受けたことを両国間の重要な成果として強調した。ナヒヤン特使はボコ大統領の就任を祝うとともに、技術、農業、観光分野での協力強化の強い希望を表明した。

【SADC関連】

○ SADC-ICP会合の開催

6日、南部アフリカ開発共同体(SADC)と国際協力パートナー(ICP)は、開発協力を強化し、SADC地域統合プログラムの実施を推進するための組織的アプローチについて議論するため、バーチャル対話プラットフォーム会議を開催した。

○ SADC本部の引渡し及びSADC待機部隊地域物流拠点の起工式の開催

13日、ボツワナのハポローネでSADC本部ビルの引き渡し式が行われ、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領(SADC議長)とボコ・ボツワナ大統領が出席した。また、両者はボツワナのラセサ村でSADC待機部隊地域物流拠点の建設の起工式にも参加した。

【経済】

○ 野菜禁輸措置の段階的解除

13日、国土・農業省は、野菜禁輸措置の段階的解除を発表した。第1段階として、ウコン、カボチャ、サツマイモなど17種類の野菜の輸入制限を直ちに解除し、第2段階として、ビートルート、バターナッツ、キャベツなど14種類の野菜の輸入制限解除については、南部アフリカ関税同盟(SACU)からの検討を盛り込んだ見直しを経て、2025年4月1日までに段階的に実施される。

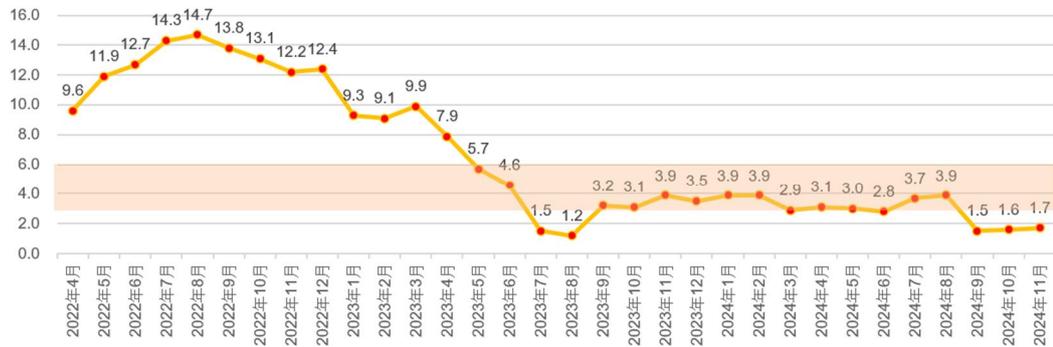
○ ボツワナ銀行第6回金融政策会合開催－政策金利は1.9%を維持－

5日、ボツワナ銀行金融政策委員会(MPC)は、金融政策金利(MoPR)を1.9%で据え置いた。同委員会は、今後の見通しについて、国内の経済成長は、短期的には低迷し、中期的には緩やかに回復し、また、インフレ率は中期的には同行の目標範囲(3%から6%)内に収まると予想しており、こうした見通しを踏まえ、政策金利を現状維持とした。

○ 11月のインフレ率は1.7%-前月より0.1ポイント上昇-

11月の年間インフレ率(前年同月比)は1.7%となり、前月のインフレ率(同)1.6%から0.1ポイント上昇した。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料(0.7%)、雑貨・サービス(0.7%)、一方で運輸はマイナス0.6%となっている。

(図：最近のインフレ率の推移)



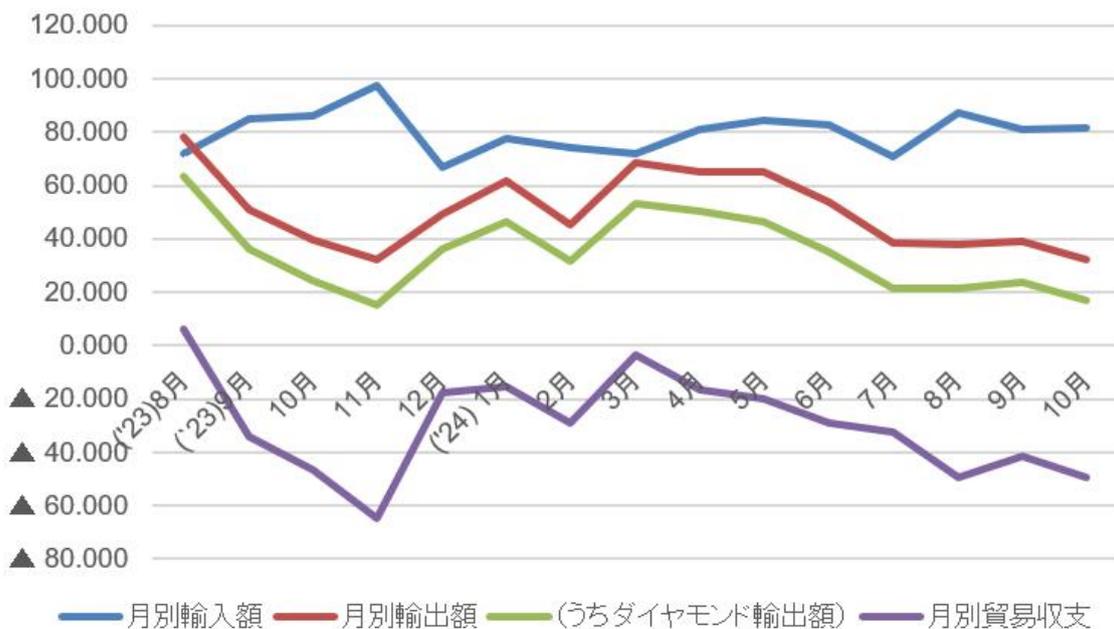
注： ポツワナ銀行中長期インフレ目標（3%から6%）

○ 10月の国際商品貿易統計- 14か月連続の貿易赤字-

10月の輸入総額は81.897億プラとなり、前月の80.852億プラ(改定値)から1.3%の増加、一方で輸出総額は、32.336億プラとなり、前月の39.394億プラ(改定値)から17.9%減少した(図)。この結果、同月の貿易収支は49.561億プラの赤字となり、2023年9月以降、14か月連続の貿易赤字となった。

	(²³)8月	(²³)9月	10月	11月	12月	(²⁴)1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
月別輸入額	71,991	84,925	85,986	97,396	66,898	77,444	74,567	72,012	81,349	84,617	82,878	70,924	87,338	80,852	81,897
月別輸出額	78,364	50,980	39,458	32,434	49,466	61,897	45,567	68,681	64,989	64,951	53,816	38,718	38,191	39,394	32,336
(うちダイヤモンド輸出額)	63,615	35,999	24,185	15,282	36,332	46,231	31,835	53,354	50,537	46,681	35,043	21,728	21,689	24,034	16,712
月別貿易収支	6,373	▲33,945	▲46,527	▲64,962	▲17,432	▲15,547	▲28,999	▲3,332	▲16,361	▲19,666	▲29,062	▲32,206	▲49,147	▲41,549	▲49,561

注)2024年10月は速報値



(参考) 分野別内訳：上位5分野 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	飲食品等 15.9	ダイヤモンド 15.4	機械・電機 15.2	燃料 15.1	化学・ゴム製品 10.4
輸出	ダイヤモンド 51.7	銅 24.8	機械・電機 8.1	塩・ソーダ灰 3.3	肉・肉製品 1.5

(参考) 国別内訳：上位5か国 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 61.6	ナミビア 11.4	中国 5.5	インド 3.9	モザンビーク 3.3
輸出	UAE 28.2	南ア 17.1	中国 11.6	豪州 11.4	ベルギー 11.3

○ 2024年第3四半期のGDP-実質ベースで前年同期比0.5%の減少

実質GDPは、鉱業、採掘業及びダイヤモンド貿易業等の不振により前年同期比で4.3%の減少となった。実質ベースでのGDP減少は3四半期連続。また名目GDPは、651.642億プラとなり、前年同期687.694億プラから5.2%の減少となった。セクター別寄与率は、公共・防衛が18.7%と最も大きく、卸売・小売12.5%、建設12.2%、鉱業・採石9.2%、と続いている。

【当館関連行事】

○ 第5回日・SADCハイレベル政策対話の実施

12日、SADC事務局において、村上アフリカ部参事官出席の下、第5回日・SADCハイレベル政策対話を開催した。2012年に締結された日・SADC協力覚書を踏まえ、今後の日・SADC協力に向けた優先課題事項等について議論した。

○ 中学校特別支援学級棟の引渡し

4日、ハボローネ市にて、大森大使出席の下、令和4年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力(モツエディ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画)の引渡式が行われた。本事業は特別支援学級棟の建設をとおり、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業を行う場を提供し、インクルーシブ教育の質の向上に寄与するもの。

(了)